



## 10/18 雄大な阿蘇の景色をキャンバスに 「アトリエだんだん」中尾和弘さん絵を寄贈

第八駐在区で油絵制作工房（アトリエだんだん）を営む中尾和弘さんが、阿蘇の景色を雄大に描いた自作の油絵を村に寄贈されました。

油絵は、今年2月初旬にホテルグリーンピア南阿蘇から高岳方向を望んで描いたもので、今年7月に熊本県立美術館分館で開催された「銀光展」に出展されたもの。黄色で表現された鮮やかな冬の山肌がキャンバスいっぱいに広がっています。

中尾さんは「南阿蘇村は四季折々に変化する雄大な自然が魅力。多くの人に雄大な阿蘇を感じていただければ」と話されました。



油絵を寄贈された中尾和弘さん（左）と長野村長

## 10/17 たった一つの命大切にしようね 長陽保育所で人権教室

人権擁護委員会子ども部会（和田七男会長）8人による人権教室が長陽保育所で開催され、園児54人が、命の大切さや、思いやりの気持ちを持つことの大切さを学びました。

人権教室では、ビデオ上映や紙芝居が行われ、園児たちは真剣な眼差しで見入っていました。

最後に人権擁護委員から「おうちの人にとって、みんなは宝です。自分のたった一つの命、虫たちの小さな命、大切にできるかな」と呼びかけると、園児たちは「はい」と元気に返事をしました。



人権擁護委員の紙芝居を真剣に見る園児たち

## 10/26 迫力ある舞に歓声 長野阿蘇神社秋季大祭開催

長野阿蘇神社秋季大祭が、神楽の里公園「神楽殿」で開催され、子ども相撲や神楽の奉納が行われました。

祭りでは長野神楽保存会（飛瀬孝治会長）が神楽を奉納。スサノオノミコトがヤマタノオロチの首を一刀両断する「八雲祓」では、迫力ある舞に観客から歓声があがりました。

神楽殿前の広場では、地域住民で構成する「神楽の里をもりあげ隊」が豚汁や、甘酒などの販売も行い、祭りはさらに賑わいを見せました。



会場を沸きあがらせた「八雲祓」

## 10/20 中松小学校バレー部優勝 火の山旗阿蘇郡市学童バレーボール大会

火の山旗阿蘇郡市学童バレーボール大会が、阿蘇市立阿蘇西小学校体育館で開催され、中松小学校バレー部Aチームが見事優勝。11月16日から開幕する第33回熊本県小学生バレーボール大会出場への切符を手にした。

試合には、同校から2チームが出場（部員20人）。決勝戦では宮地小学校を破り、優勝しました。

キャプテンの大塚暖可さん（6年生）は、「優勝した瞬間、「阿蘇郡市で一番だ」と思いました。県大会では、やる気満々の気持ちで、周りが驚くような試合をしたいです」と、次への意気込みを込めて話してくれました。



優勝に喜ぶ中松小学校バレー部

## 10/25 100歳おめでとうございます

緒方シズ子さん（立野） 岩崎トミさん（下田）

100歳の誕生日を迎えられた立野地区の緒方シズ子さんと、下田地区の岩崎トミさんのお祝いが自宅で行われ、長野村長から寿詞と記念品が手渡されました。

緒方シズ子さんは大正2年10月27日生まれ。以前は大さじ一杯のご飯しか食べなかった緒方さんですが、特別養護老人ホームに一週間泊まったことをきっかけに、今では一膳食べるほど元気になられたそうです。

緒方さんは、うれしそうに長野村長からの寿詞を受け取られていました。

岩崎トミさんは大正2年11月1日生まれ。若いころからゲートボールや旅行、登山が好きで、中でも陶芸が一番好きとのこと。居間には、岩崎さんが制作した一輪挿しなど作品の数々が飾られています。

岩崎さんは「まだまだ元気なら今でも陶芸をしたいです。これからは、皆さんに迷惑をかけないよう過ごしていきたいです」と話されました。



100歳を迎えられた緒方シズ子さん（中央）と親族のお二人



100歳を迎えられた岩崎トミさん（中央）と親族の皆さん

## 10/25 26年前の熱い思いが復活

ビートチャイルド  
BEATCHILD復活祭 IN ASPECTA

10月26日から全国一斉に公開されるドキュメンタリー映画「BEATCHILD1987年」の復活祭が県野外劇場アスペクタで開催され、約1,300人が来場しました（アスペクタ管理運営共同企業体主催）。

「BEATCHILD」は26年前の1987年8月22日、同劇場で開催された大物歌手たちのロックイベントで、7万2千人の観客が参加。夕方から豪雨に見舞われながらも、翌朝までの12時間行われ、歴史的なイベントとなりました。

復活祭では、当時の出演者の一人である白井貴子さんや、同映画の主題歌を担当するバンド「ウラニーノ」などが出演。終盤には、当時の出演者たちの曲が流れる中、盛大な花火が打ち上げられました。

親子で来場した熊本市の男性（46歳）は、「当時私は20歳。この日を待っていました。子どもたちには、この伝説となったイベントを伝えていって欲しい」と当時のキーホルダーを手に、熱く話してくれました。



映画の主題歌を担当する「ウラニーノ」



「ベイビー大丈夫か」と呼びかける白井貴子さん



盛り上がる来場者たち



## 10/30 南阿蘇鉄道ハロウィン列車運行 白水保育所園児たちもハロウィン

高森駅から立野駅間を走る南阿蘇鉄道で、ハロウィン列車が運行され、白水保育所の園児36人が招待されました。

高森駅では、カボチャや猿などに仮装した子どもたちが、元気な歌声で「どんぐりころころ」を披露し乗車。列車内には、地域の人も乗り合わせ、観光客たちにお菓子が振る舞われました。

園児たちは、ハロウィン用に装飾されたピンクの列車に乗ると大喜び。高森駅から立野駅を折り返して阿蘇白川駅まで乗車し、歌を歌ったり楽しいひと時を過ごしました。



かわいらしい姿に仮装した園児たち

## 10/27 艶やかに舞う 神楽殿で「ザ・わらべ」「こわらべ」公演

少女舞踊団「ザ・わらべ」と、子ども舞踊団「こわらべ」の公演が長野阿蘇神社神楽殿で行われ、約80人の人が訪れました。

舞を披露したのは中学生から高校生で構成する「ザ・わらべ」の3人と、小学生で構成する「こわらべ」5人の計8人。「こわらべ」のメンバーのうち2人は、久木野小学校の今村明音さん（6年）と小堀ゆりあさん（4年）。

この日、披露されたのは全22曲。華やかな衣装に身を包んだ少女たちの艶やかな舞は、見る人の目を楽しませ、参加者たちを魅了していました。



艶やかな舞を披露する「こわらべ」の小堀ゆりあさんと、今村明音さん

## 11/6 長年の議員活動に旭日双光章 古澤一さん（喜多）

秋の叙勲伝達式が、県庁知事応接室で行われ、旭日双光章を受章された古澤一さん（喜多）に村田副知事から、勲記と勲章が手渡されました。

古澤さんは、昭和54年5月に旧長陽村議会議員に就任。平成17年までの25年9カ月余り（7期）の長きにわたり在職され、その間議長を歴任されるなど、村の発展向上に尽力されました。

受章の喜びを古澤さんは、「受章できたのも皆様のご支援ご指導のたまものです。皆さんに迷惑かけないよう、元気な体で少しでも村に貢献できれば」と話されました。



村田副知事から勲記を手渡される古澤一さん

## 11/5 全国老人クラブ連合会老人クラブ育成功労表彰 山村美比古さん（吉田一）

本年度の全国老人クラブ連合会会長表彰で、吉田一区の山村美比古さんが育成功労者として表彰され、本村老人クラブ連合会の桐原唯典会長から表彰状が伝達されました。

山村さんは、平成15年4月から8年2カ月、旧白水村、南阿蘇村の老人クラブ連合会長を歴任。その間、阿蘇郡老人クラブ連合会会長を務められるなど、老人クラブ連合会の発展と育成に多大な貢献をされました。

約20年間、会員として活動された山村さんは「長いようで短い20年でした。ありがとうございました」と喜びのあいさつをされました。



桐原会長から表彰状を手渡される山村美比古さん

## 11月8日 ドイツ初のバイオエネルギー村を学ぶ 両併小学校

両併小学校（後藤利恵子校長）の全校児童32人が、ドイツで初めてエネルギーの完全自給に取り組んだユーンデ村について学びました。

授業には、ドイツのゲッティンゲン大学の農業経済学者カーペンシュタイン・マッヒャンさんが来校。人口約770人のユーンデ村では、家畜糞尿や農作物などを利用して電気や熱を賅っていることや、地域の理解と連携の重要性を説明されました。

屋外では発電鍋を使った実験も行われ、木材を燃やすと、扇風機のプロペラが回る様子に児童たちは驚きの声をあげていました。



発電鍋で実験をする児童たちと、カーペンシュタイン・マッヒャンさん(右)

## 11月6日 村内福祉施設に歩行車などを寄贈 ボランティアグループ「すぎな会」

ボランティアグループ「すぎな会」（福井郁子会長 会員21人）が、村内福祉施設に歩行車9台と膝掛け25枚を寄贈しました。

現在すぎな会は、村社会福祉協議会のデイサービスで週3回、入浴介助や昼食の配膳などの活動をするほか、段ボールやアルミ缶などの分別収集を行っています。

会長の福井さんは「寄贈できたのも協力してくださった皆さんのおかげです。この活動を長く続けていくためにも、もっと若い方に協力してもらえれば」と話されました。



村内福祉施設に歩行車などを寄贈された「すぎな会」の皆さん

## 11月11日 元気に育ってね 南阿蘇西小学校ヤマメの放流

南阿蘇西小学校（日置郁郎校長）の4年生33人が、白川河川敷でヤマメの稚魚の放流を行いました。

これは、自然の仕組みや河川の魅力を伝えようと、白川漁業協同組合（坂田拓穂会長）が取り組んでいる事業。

この日は、8cmから10cmの稚魚約1万匹を放流。子どもたちは一人一人バケツに入った稚魚をていねいに川に放し、元気に泳ぎ回る姿を興味深げに見守っていました。

放流を終えて大澤優太くんは、「ヤマメはかわいかった。元気に育ってほしいです」と話してくれました。



ヤマメの稚魚を放流する児童たち

## 11月8日 赤ちゃんの「もしも」に備えて 「わくわくひろば」で応急対策訓練開催

子育て支援ひろば「わくわくひろば」（長陽保健センター内）で、子育て支援ひろばのスタッフと、施設を利用する親子を対象に応急対策訓練が行われました。

訓練には、約30人が参加。施設内で発生する緊急事態に対処することを目的に、阿蘇広域消防本部南部分署の協力を得て実施されました。南部分署署員による赤ちゃんの熱性痙攣対処法の講義や、心肺蘇生法などが行われ、参加者たちは真剣な表情で聞き入っていました。



南部分署署員の講習を真剣に聞く参加者たち